

2021年6月23日 中教審 学校安全部会

第3次学校安全推進計画への提言

人を育む・未来をつくる防災教育

慶應義塾大学 環境情報学部
准教授 大木 聖子

時代遅れな訓練 やっていませんか？

先生が指示してアクション



- ✓ 「地震です。机の下に入りましょう」・・・???
- ✓ 立っている先生より先に、座っている子供たちが揺れに気づきます。
- ✓ そもそも強い揺れでは話すこともできません。

校庭にいるなら中央でしゃがむ



- ✓ 校庭にいる時に地震が発生したら、真ん中に集まってしゃがむ???
- ✓ 強い揺れの渦中に移動するのはほとんど不可能です。

校庭集合を校内放送



- ✓ 停電でも校内放送は使えますか？
- ✓ 耐震性のある校舎を出て、わざわざ校庭に集合する理由は何ですか？

訓練の評価は集合までの時間

- ✓ 「揺れから命を守る」部分の振り返りは？



形骸化した避難訓練では 現実の地震に対応できません

- 突然の強い揺れから、**瞬時に、自分の判断で、命を守る訓練**を行うことが最重要！
 - ❖ 津波・火災からの避難は、最初の揺れからケガなく身を守って初めて実現できる。「瞬時に、自分の判断で、命を守るアクション」の訓練を重ねているか？
 - ❖ 立って授業をしている教員より、座っている**子供たちのほうが先に揺れに気づく**。先生の判断を待つのは命取り。
 - ❖ 震度6を超えるとほとんど歩くこともできません。**校庭にいるならその場で瞬時にダンゴムシ**でいいのでは？校舎のすぐ近くやゴールポストにいる場合なら這ってでも離れるように伝えればいいのでは？
- 教員は「**いま、何のリスクから避難しているのか**」を把握すること
 - ❖ 校庭に集合するのは校舎が倒壊するから？火災が発生する可能性があるから？心理的な負担軽減のため？教員が集合して議論しやすくするため？
 - ❖ 大雨の日に地震が起きたらどうする？／校庭が液状化したらどうする？

アクティヴ・ラーニング型 避難訓練。。。

3密も避けられる！

Step 1

いきなり訓練をせずに、まずは学校内の写真を使って、危険探しをする。

※ 自分のクラスの写真だと盛り上がります。



もしこの写真の中の世界で地震が起きたら、何が危険そう？



Step 2

クラスを2つに分けて、教室で訓練をする。前半・後半に分けて、気づきを共有する。

※ 理科室や家庭科室だと応用力がつきます。



前半グループを見ていて気づいたことはありますか？



命を守る3つの「ない」

落ちてこない
倒れてこない
移動してこない

危険探しは「落ちそう・倒れそう・移動しそう」を見つけることでできる！

地震ショート訓練のポイント 主体的・対話的で、深い学びのある訓練

- 揺れから瞬時に身を守る部分だけをやる。全体で訓練する必要はない。
- クラスごとに好きなタイミングでやる。
- クラスを2つに分け、振り返りをする。
- Step1をやるのは初回だけ。以降はStep2の部分のみ。10分でできる。
- 連続でやると体に定着する（週1で4週連続など）。年に一度、連続でやる月があるとよい。

『命を守る3つのポーズ』



① だんごむし
(机がないとき)

- ✓ 両膝を地面につける
- ✓ 両手で頭を守る



② サル (机があるとき)

- ✓ 脚の真ん中か上の方をつかむ
- ✓ 4本脚の場合は斜めに
- ✓ 両膝を地面に



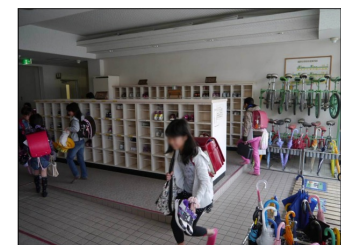
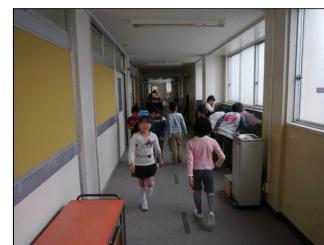
③ あらいぐま (火災のとき)

- ✓ ハンカチで鼻と口をおおう
- ✓ ティッシュはダメ
- ✓ 袖や裾・襟ぐりでもOK

Step1で使用する写真のサンプル (自校の写真でやろう！)



5



実効的な避難訓練を行っているか

アンケート「避難訓練をやっていますか？」では測れない！

- タイムを測ることが主評価になっていませんか？
- 雨天順延してないですか？
- 余震の発生に対応していますか？
- 停電の想定でやっていますか？
- 教職員にも抜き打ちで行っていますか？
- 管理職不在の想定でやっていますか？
- . . .

学校管理下で地震が発生する確率は30%以下。

従来の避難訓練で問題が多発していないのは、単に学校管理下で地震が起きていないからであって、「訓練のあり方に問題がないから」ではない。

未就学児への防災教育

- 防災教育に割ける**時間が小中学校よりもある**
- 子供が幼い方が**保護者の意識が高い**
 - 大人への防災啓発を兼ねている（→地域の担い手に）
- **小中学校の防災教育がより実践的なものに**
 - 発達段階ごとのスタンダードを策定，幼保・小・中・高とシームレスな防災教育を実現

所管省庁が複数ある。省庁を越えた連携を！

これからの災害安全 一提言一

- 地震の概念すら持たない「未就学児の命を守り抜く」という視点をより意識した計画の策定，関係省庁の連携。
- 緊急地震速報システムの全校導入など，より実効的な避難訓練に移行できる環境の整備。
- 発達段階に応じた防災教育スタンダードの策定。
- 施設安全等の防災管理と，教職員・児童生徒の防災教育の双方を対象とした指標を策定。